

受付	代表質問 令和 年 月 日	第 号 時 分
----	------------------	------------

一般質問＜代表＞発言通告書

令和8年2月9日

長久手市議会議長 殿

会派名 ながくて

長久手市議会議員 山田けんたろう

会議規則第59条第2項の規定により下記のとおり通告します。

	質問事項及び要旨	備考
1	<p>令和8年度市長施政方針と市長公約「長久手まちづくりビジョン」について</p> <p>(1) 令和8年度の予算編成に際して約4億円が不足する課題に直面し、令和6年2月から約2年間にわたり「事業総点検」を進めてきた。その過程では、市民の生活に極力影響がないようにという視点を大切にしながら、事業の廃止や縮減、歳入確保を検討し、目標を達成したとのことである。</p> <p>ア 今回の事業総点検は、4億円の捻出を優先し、市民への影響は後回しではないか。</p> <p>イ 今回の事業総点検は、市長公約に基づくものか。それとも4億円の財源不足を捻出するものか。</p> <p>ウ 今回の事業総点検の検討結果報告は、関係する市民や団体及び事業者等と十分な協議や時間をかけて出し、示したものか。</p> <p>エ 市の一方的な事業総点検の検討結果と、それらを反映した新年度予算編成は、平成30年7月1日から施行した「長久手市みんなでつくるまち条例」に反しないか。</p> <p>オ 令和8年度以降もこの取組を継続していくようであるが、廃止や縮減だけでなく、令和8年度に検証の上</p>	

	<p>で、事業の再開や拡大等再検討の考えはあるか。</p> <p>(2) 補助金の確保や基金を活用し、市が負担すべき経費を精査しながら実施していくとのことだが、具体的にどのように進めていくか。</p> <p>(3) 「文化芸術・スポーツのまち」について</p> <p>ア 令和8年度に杵ヶ池体育館の大規模改修を行うが、現在、杵ヶ池体育館を利用している市民や団体の代替となる場所の確保等、市の支援はどのようなか。</p> <p>イ 市民や子どもたちが、文化芸術やスポーツに親しめる環境づくりはできているか。</p> <p>ウ 市長公約では、「文化の家で舞台劇や音楽、アートに触れる機会を増やす」とある。令和8年度以降の文化の家の運営体制や今後はどのようなか。</p> <p>エ 市長公約である「新総合体育館の整備、スケボーができるスケートパークの整備」はどのようなになっているか。</p> <p>(4) 「自然環境を大切にすまち」について、旧香流苑跡地に関して、既存の樹木や築山を活かし、地域に住む住民の憩いの場の整備を予定しているとのことである。</p> <p>ア 今回の事業総点検において、道路や公共施設等市が管理する施設の除草や樹木剪定等植栽の維持管理を多く削減するなか、どのように取り組むのか。</p> <p>イ 市長公約である花いっぱい事業の現状はどのようなか。</p> <p>(5) 令和8年度は、次期長久手市総合計画に加え、長久手市都市計画マスタープラン、長久手市土地利用計画も同時に次期計画の策定期を迎えるが、展望はどのようなか。</p> <p>(6) 4月から新たに企画政策課内に「行政マーケティング推進室」を立ち上げ、本市の魅力を対外的にPRして民間事業者との連携を深め、歳入確保の強化に取り組んでいくとのことだが、具体的にどのような取組か。</p> <p>(7) 新年度も積極的にまちへ出ることで、市民と対話を重ね、市民の想いが反映されるまちづくりに、職員一丸となって知恵を絞りながら全身全霊で取り組むとのことであるが、それは具体的にどのようなことか。</p> <p>(8) 佐藤市長の選挙時の公約に基づき、「子どもがすくすく育つまち」「高齢者に優しいまち」「誰もが希望をもてるまち」「文化芸術・スポーツのまち」「自然環境を大切にすまち」の5つの重点政策として、25の事業と10の課題を掲げ、これらの実現に向けた行程や現在の取組状況をまとめた、2027年度までの取組方針「長久手まちづくりビジョン」ロードマップを策定した。市長に</p>	
--	--	--

	<p>就任され3年目を迎えたが、公約の実現の状況はどのようなか。</p> <p>(9) 佐藤市長の選挙時の公約では、「さとうゆみの長久手まちづくりビジョン」「3つの基本姿勢、さあ、一緒に市政を変えていきましょう！見える（市の情報を積極的に発信）・届く（市民の願いが届く市役所に）・変わる（決断力を持って変える）」を掲げている。佐藤市長は、市長就任3年目を迎えたが、市民や市役所職員の思いと向き合えているか。</p>	
--	---	--